

# ■ATTENTION

## 製品使用上のご注意

家具を安全にご使用いただくために、添付されている取扱説明書・組立説明書をよくお読みのうえ、ご使用ください。

### 製品購入時の注意事項

購入当初、しばらくの間は換気や通風を十分に行うよう心がけてください。環境基準はクリアしていますが、個人個人の体質により化学物質に過敏に反応する場合があります。室内の換気が十分に行われないと室内の化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。

### 温度や湿度の変化による換気の励行

直射日光の当たる場所や冷暖房機器の近くなど、高温、湿気、乾燥の著しい場所での使用は製品の変形やカビの原因となりますのでご注意ください。風通しの良い場所でご使用ください。室内が著しく高温多湿となる場合（温度28℃、相対湿度50%超が目安）には、窓を閉め切らないようにするか、強制換気を行ってください。室内の化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。

### 組み立ての際

- 組み立て・設置は、広くて水平な床で行ってください。破損の原因となります。
- 締め付けが弱いと、ぐらつき、ガタつきの原因となります。しっかりと締め付けてください。
- 組み立て式の家具は、製品に同封の組み立て説明書に従って、順序よく、確実に組み立ててから使用してください。

### 家具全般

- 直射日光やストーブの熱、冷暖房の風などが家具に直接当たらないようにしてください。変形、変色、火災の原因となります。
- 家具の上に立ち上がり、乱暴に扱わないでください。ケガや破損の原因となります。
- ボルトやネジが緩んだままで使わないでください。変形・破損の原因となります。定期的に確認し、増し締めを行ってください。
- 改造、分解、定められた用途以外の使用は絶対に行わないでください。ケガや破損の原因となります。
- 家具を移動する場合は複数人で行き、絶対に引きずらないでください。破損、ガタつきの原因となります。
- 椅子の座面やベッドなどのクッション部に長時間ものを置かないでください。ウレタン・表面材の変形や変色の原因となります。
- ベンジン、シンナー、化学雑巾等は使用しないでください。変形、変色、破損の原因となります。
- 床面が畳やフローリングの場合は敷物を敷いたり、家具の底部分にフェルトなどを貼ってください。床面のキズ防止になります。
- 害虫を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。放置すると虫害が拡大する恐れがあります。
- アルコールや次亜塩素酸ナトリウム、界面活性剤などが含有された薬剤を用いて清掃を行っていただく場合は、薬剤の注意書きをよく読み、用法・用量・定められた希釈度を厳守してご使用ください。また、製品の目立たない箇所を試用いただき、問題が発生しないことを確認いただいた上、ご使用ください。
- 薬剤を用いて清掃を行っていただいた後は、必ず水拭きと乾拭きを行っていただき、製品表面に薬剤が付着したままとならないよう注意してください。

### 無垢材を使用した製品

- 製造工程では予測できなかった変形や割れを生じる場合があります。また、木の調湿具合などにより、多少の変形を生じる場合があります。
- 材（特にアッシュ材）によっては節目やミネラル線（黒い筋）があらわれたり、粗い目が出る場合があります。材の生地を最大限活かした塗装を採用しているため、同じ品番の製品でも多少色合いが異なります。
- 水や油が付着した場合には、すぐに拭き取ってください。水や油などの浸透によって色目が一部変化する場合があります。
- ボールペンなどを強く押しつけると表面に跡がつかます。
- 日焼けや経年変化によって塗装面の変色が生じます。
- 無垢材を使用した製品の室内環境として「室温20～28℃、湿度50～60%」を推奨しています。（特に低湿度や急激な温度変化により、割れや反りを生じる場合があります）
- 国産材やFSC® 認証材を使用した家具は、資源保護の観点から節のある木材も、通常の使用において支障のない範囲で部材として使用しています。また、外観にも配慮し、使用する箇所を決めていますが、背板など大判の木材を使用した箇所や天板の裏、引き出しの中などには節が見られる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 無垢材は、「赤木」と呼ばれる色の濃い中心部、「白木」と呼ばれる外側の白い部分により、材の濃淡が生じます。
- 無垢材（特にオーク材）は、柾目を横切る「斑」と呼ばれる斑上の柾目や節、シミ等が生じる場合があります。
- 曲木を使用した部材は多少赤味を帯びた色合いとなります。

### チェア

- 座面に立ったり、背もたれ、肘掛などに座らないでください。転倒の危険があります。
- 連結部分や隙間に手や足を入れないでください。ケガの原因となります。
- 乳幼児チェア以外は乳幼児をひとりて座らせないでください。転倒やケガの原因となります。乳幼児家具をご利用の際は、保護者の方は目を離さないでください。転倒やケガの原因となります。
- 椅子に座ったままの状態を持ち上げたり引きずったりしないでください。破損の原因となります。